

1. 件名：浜岡原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年11月29日(火) 14時35分～15時15分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：佐口主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究
調査官、馬場係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 調査計画グループ
グループ長 他5名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	はいそれではただいまより、浜岡原子力発電所津波評価の審査の進め方ということで面談を廃止します。
0:00:15	一応この面談については本来の先週の金曜日でプレート間のコメント回答これ審査会合の議題でかける予定で、ちょっとそれは前日の木曜日にお伝えしましたけれども、
0:00:26	本当今の資料で議論をしてプレート間の評価最終段階にも来てますけれども、評価を議論するということには難しいということで、
0:00:36	会合としては、今後一旦流すということでお伝えをしてございました。とはいえ、コメント回答の資料として、あとどういう構成でもともと、
0:00:49	3件あったコメントについては、一応審査会合に向けて作っていただいているコメント回答の資料の中には書いてあるわけで、とはいえ、全体の流れとして、どういう説明を求めて、それに対してどういう説明を資料を作るかということについては別途面談を設定するという事になってましたので、
0:01:08	本日の面談ということで、別途で設定しております。
0:01:13	で、冒頭主査の存在すると、確かにこれまで浜岡の資料ですね、7月の会合もそうなんですけども、コメント回答と言いつつ、
0:01:25	本体資料全体の中に、飛び飛びでコメント回答が入っていたと。
0:01:29	そうすると毎回その数百ページぐらいの資料があってももちろん、介護の説明の場では、必要な部分だけを説明されるわけですけども、まずはコメントの回答についてしっかりとした資料を作るという形で、
0:01:44	今、先週の会合に向けにお願いいただいた資料をヒアリングで我々も確認してた。
0:01:51	確かにコメント回答の推しとしては3件とも書いてあるわけですけども、それは我々の中のチーム以外もそうですし、周りでその審議を見ている方もそうなんですけども、
0:02:03	プレート間全体としてどういう評価をしていて、その中でどういうコメントがあって今回コメントの回答をして、その回答としては技術的に妥当なんだという説明の流れで、
0:02:15	説明をいただいて我々も議論をしたいところでちょっとその入口部分ですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:21	もちろん資料全体資料1-2に相当する全体版のところではもちろん書いてあるんですけども、その隣の資料に飛び飛びでみないと、なかなか説明を聞いたり議論したりするのに当たらないということで、
0:02:35	何か新しくですね、検討いただくということではなくて、既存ある情報の中で、どうやって会合で議論するような状態に持っていかということで、
0:02:45	問題改善を求めましょうという趣旨でございます。
0:02:51	特に少しですね、こういう形で、コメント回答に入るまでに説明を加えてはどうでしょうかという話があるのであれば、
0:03:01	先に伺おうかと思えますけれども、
0:03:08	中部電力浜野でございます。ありがとうございます
0:03:12	今、鈴木さんからお話あった通りで
0:03:16	前回ぐらいのところまでは、本体資料にコメント回答を織り込んで飛び飛びで説明していた部分、ちょっとそのコメント回答部分がぼけてしまっているという、
0:03:28	こともあって我々投資事業者として改善方向ということで、
0:03:34	コメント回答を抜き出していることで、当然、
0:03:38	一番重要な津波の上昇側のところの議論というのを、しっかりこの数年、ご議論させていただいた上で今22.7というところまで、
0:03:48	ご説明しているところもあって、今回残っているところが下降側の話だとか選定方法というのなので全体で見ると、そこをしっかりご説明できれば、
0:04:00	いいのかなというたてつけではあったんですが、それらが、
0:04:04	全体のどこを維持してるかっていうことを、
0:04:08	コメント回答の中で冒頭でお示ししないとちょっと位置付けがわかりにくいと。
0:04:12	いうご趣旨かなと思っております。ちょっと、
0:04:16	こんなふうにしたらっていうのを、森から説明させます。
0:04:23	はい。中部電力の盛です。資料1-1、1-1というか、審査会合に提出させていただいた資料から、こういうページを追加した方がいいんじゃないかということで、ことで申し上げさせていただきます。
0:04:36	と、まず11ページのところに、
0:04:41	本日の説明内容というページがございまして、その次あたりに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:47	まずプレート間地震の津波評価の全体概要ということで、津波評価全体を痕跡再現モデルから検討波源モデルまで、
0:04:57	どういう不確かさを、
0:05:00	見ていく必要があるのかというようなところを加え、1 ページ、加えさしていただく必要があるかなというふうに思っています。
0:05:08	次に、これまでもお示ししていたようなプレート加振の全体の詳細の概要ということで、痕跡から、最後の結果のところまで、どういうプロセスで波源を選んでいくかというようなところを、まず、
0:05:23	コメント回答の資料の中にも、加えさせていただいた上で、
0:05:26	今回のNo. 1 コメント回答No.2 コメント回答がどこに当たるのかと。
0:05:30	というようなところを、わかるように、マップとして示させていただく方が、必要かなというふうに考えております。
0:05:38	で、そのあと、今、
0:05:42	提出版の資料で、
0:05:45	コメント回答の関係等々をお示しをさせていただいた上で、
0:05:49	まず、コメント回答に伴う津波の評価の変更概要と、その次に、頭の方に、やはりコメント回答の概要もまとめてしまった方がいいのかなというところで、
0:06:01	ナンバー1 のコメント回答の概要、ナンバー2 のコメント回答の概要、
0:06:05	ナンバー3 のコメント回答の概要というのを頭の方に持ってきてはどうかというふうに思っています。
0:06:11	その上で、津波評価結果がどういふふうに変更になったのかというところ。
0:06:16	その次のページで、
0:06:19	プレート間地震津波評価これまでの変遷も補足として追加させていただくのはいかがかなというふうに思っております。ここまでが全体のコメント回答と全体を含めた概要と、
0:06:31	ということで、それ以降個別のNo.1No.2No.3 のコメント回答に入っていくというような今流れを考えてございます。
0:06:43	で、ちょっと社内で議論していたのが、
0:06:50	さっき今ご説明した本体資料で6 ページで言う従来から見せてる。
0:06:55	プレート間地震の津波の、
0:06:58	評価の検討フローということで、
0:07:01	痕跡再現モデルをまず設定した上で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:05	内閣府等土木学会に基づいて、A B C Dと、
0:07:10	いうモデルを、
0:07:14	検討波源モデルとして設定した上で、最も
0:07:18	津波で敷地への影響に支配的な滑り域の位置を概略パラメータスタディで振って行って、
0:07:28	その過程において、すでにコメント回答済みですが、結果が、
0:07:33	近いところってというのは、それぞれ、基準断層モデルは、として選定した上で、複数選んで、
0:07:42	詳細パラメータスタディの方に振っていきますよと。最後、
0:07:49	影響の大きいライズタイムを 60 秒から 300 秒まで振って、そこに対して破壊伝播速度や破壊開始点も振ると、
0:07:57	というようなこの全体の流れのところについてですね、やはりちょっとまとめという観点において、これ、
0:08:04	フローしか書いてないもんですからここをちゃんと文章である程度何やってきたかっていう書き下しを加えた方が、
0:08:12	いいんじゃないかなという話を見資金の論理構成の話なんかは考えているとやっぱりここで、
0:08:19	絵を見ただけではわからないんで、どういうことをやってきてどういうものが選ばれてで、
0:08:24	特に今回のコメント回答でいくと、
0:08:28	一番最後の詳細パラメータスタディっていうところは、
0:08:32	前回までに上昇側の一番重要なライズタイム 60 秒。
0:08:36	というところで破壊開始点を見ているというものまでは、ご説明済みで、今回、課題となっていることってというのは、
0:08:45	実は水下降側ってというのは、必ずしもライズタイムが、
0:08:49	メインで支配的ではないという積み残しが、この部分にあったのでそこを今回しっかりやったんですっていうもの。
0:08:57	キープラン的に、その 1、今回やってるのはここですよということ或いは日本海溝との比較っていうところも、
0:09:05	絵でいうと左の方にありますがこういうところでもう 1 回ちゃんと確認してるっていうキープランを、
0:09:11	お見せすることで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:12	全体の論理構成と、ライズタイムの影響なんかも上昇と下降で違うこともしっかり確認してやってますっていうところをしっかりと文章で書き下すことで、
0:09:24	今回、審査延期になってしまったんですけど当社としてやってきたところであり最後のまとめの方に、
0:09:31	議論できるんじゃないかなっていうふうに考えておるというところでございます。
0:09:38	はい。ありがとうございます。ちょっと導入部分のところとしては、今あったようなお話があったようにですね。
0:09:46	本体で言うと毎回よく見てますけども、ヒアリング資料なんかでもいつももらってる6枚目、
0:09:54	ここは全体としてのってって、
0:09:58	ここに次々かこれ以上書き情報書き込んでいくとさらに細かくなってしまうんで、あとはいきなりこれで、じゃあ詳細パラスタの5コメント回答のところですよっていうと、
0:10:09	その全体の構図論理構成としてどうなんだっていうところが、またつまずいてしまうので、ただですね今あったそのそれぞれのイメージって、また痕跡再現モデルの検討って、多分資料本体に行くと何ページかにわたって詳細に、
0:10:25	説明があって、さらにどういう形で検証、検証とか再現性の値検証したのかっていうのを書いてあるんですけど、それと同じような話を、
0:10:35	また文字でだらだらと書いてしまうと、それでわかりにくくなってしまうので、いかに端的に、痕跡再現モデルの検討と、その妥当性はこうやって示したんです。その詳細中身というのは、
0:10:49	本体資料の第何章にありますということですね。
0:10:52	そういう形だし、検討波源モデルも、こういう、
0:10:55	この考え方で設定をしていて、
0:10:58	その妥当性は、第内閣府、やはり土木学会との比較は、ここにあるし日本海の主モデルとの比較がここにあるって、その日本海溝のモデルとの比較が今、
0:11:10	コメントの整理と、一番になるのかな。
0:11:14	として出てますのでここは今回説明しますと、
0:11:17	で、概略パラスタも今おっしゃったように、各云々の通りその影響の大きい滑り域を東側ずらしていくんだという、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:26	だからそれで概略パラスタの妥当性を示してますっていうな、流れとしては今おっしゃったような話で、やっぱりパーツパーツでそれぞれ簡単に1枚ぐらいで、
0:11:36	説明は行った上で、そうすつと今回どこにツケが残っているのかっていうのがあるクリアになってから、コメント回答受けれるし、議論ができるというのは、
0:11:47	おっしゃる通りかなと思ってますんでベースは、資料の本体で言うところの6ページがあって、それぞれの概要をオンタンの1枚にした時にものすごい文字が細かくなると。
0:12:00	そう読んでるだけで、説明というか時間かかってしまうんで、あそこいかに端的にまとめるかというところかと思っています。
0:12:07	その上でですね今主今回詳細パラスタの全体、最後その結構かなり計算数が多いのでその中からどうやって選ぶかということであるんですけど、
0:12:20	その前にですね、概略パラスタの最後、多分1枚でまとめてると思うんですよ。いつも概略パラスタの結果を、多分本体的で言うとダイエー概略パラスタの
0:12:33	全体というのは多分133ページとかに、結果一覧がまとまっていて、
0:12:39	この結果から、こういう考えで、基準断層モデル1、
0:12:45	1、1から5個ですね、後はですね、五つのモデルだし1-1から1-5出し3-1から3-3で7-1から2-3出して、
0:12:52	この段階でどうという考えで選んでますっていうのはそこはクリアにしてもらいたい。
0:13:00	多分これ、敷地前面に着目して敷地前面で大きい影響の大きいものを選んで、敷地前面で影響が大きいものは基準断層モデルの1回ちょっとうちの方で選んでないわけ。
0:13:11	で、
0:13:12	このヒアリングでも言ったような気がするんですけど、その詳細パラスタに入る前に、
0:13:18	基準断層モデルで、
0:13:20	これは敷地前面を評価するんですっていうふうに確定的にっていうのか、
0:13:25	或いはこの段階で、あくまで着目で詳細パラスタの結果も見ながら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:31	当然その着目が正しいのかというのを確認する逆転がないのかということですね、基準断層モデル 1-1 は、敷地前面に着目はしますけれども、
0:13:41	基準断層モデルさんとかも、敷地前面の
0:13:45	値というのは詳細パラスタの方でも、きちんとチェックをして、最後、選ぶという、そういうプロセスに行くのか、もうはなから、
0:13:55	基準断層も敷地前面基準断層モデル 1-1 から 1-5 です。
0:14:01	詳細パラスターでは、そこは今赤く塗ってますんで他の詳細パラスタやるときも、赤文字にはしないんですけどピンク色に塗られていて、
0:14:10	ちょっとそこも、これ詳細パラスタの時にこの値は逐一見るべきなのか、それは詳細パラスタ入る前にはじいているのか。
0:14:20	いや、一応念のため、逆転がないかという観点で、確認しているのかっていうのも、そういうのもですね、
0:14:27	わかるように当然説明聞いている私はわかってるんですけど。
0:14:31	パッとコイル塗ってあるってことはここも着目点なのかっていう形で、南てくもんですから、
0:14:40	そういうのもですね、今詳細パラスタの入口のところの話ですけど、わかるような形にしてもらえればなと思います。
0:14:49	日本海溝の手法を用いたモデルとの比較。
0:14:54	ここで言うと、今多分ですねしか、コメント回答を
0:14:59	しようと。
0:15:01	ているもともとの資料からすると、
0:15:13	ええ。
0:15:17	そうですね。もともとやっぱり入ってくる前に、いきなり
0:15:22	城内閣府最大蔵ケースとか基準編関連モデルの検討設定方法ということで、一応ここはもう、それぞれの C D のモデルの成り立ちを書いた上で、
0:15:33	そこからモデル 123 って比較してるんで、ここは入り方として悪くないかなと。ちょっと 18 ページの、
0:15:42	文字が高いっていうのはあるんですけど、
0:15:47	そこはまあまあいいですと。
0:15:50	できればこういうところをもうちょっとコンパクトに、基本的な考えみたいところはできるだけコンパクトにまとめてもらった方が、
0:15:58	御社の考えが何なのかっていうのを瞬時にわかるので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:02	区画がですね。
0:16:04	その上で、コメント回答の中身の妥当性云々は当然この場では、火する話ではないので申し上げますがと。
0:16:15	あと一番、
0:16:16	各科。
0:16:17	増井加古側は、
0:16:23	そうですね、資料上だと前回どういうやり方をしているそうすると何で前回多分、
0:16:30	分析の結果とか、そこでも端折っちゃってますよね。前回こういう分析をしてたんで、
0:16:37	何か逆転が起きませんかと言われましたんで、今回こういうふうに変えましたってちょっと使用前主語はね楠井河口側、あと資料上わからないんですよ。
0:16:46	今回多分最大の値を最大の値を比較をして、そうすると何ライズタイムと破壊伝播速度を上げる会社、ほぼほぼ詳細パラスタの結果分析っていうのは、
0:16:59	変わってこないんですけども、それは結果論なんで、
0:17:02	例えばで言うと、水位下降側でいくと、
0:17:07	とも影響の分析が 55 ページですよ資料です。これ今回は確かにこういう比較の仕方をしていて、これを見る限り別にライズタイムと破壊伝播速度は理解して、この順番で、
0:17:20	やるっていうのは、結果から影響分析してもおかしくない話だしっていうのはもちろんわかるんですけど、
0:17:26	前回何がいけなくて、こんで今回どう改善して、
0:17:30	それで、今回②い。
0:17:33	0 という議論をするかどうかっていうところ。
0:17:36	もっといきなり費用、
0:17:38	全仕様が 54 ページには書いてあるんですけど、これだけだと
0:17:42	最初の一行広岡前後広岡っていうところだけなので、
0:17:48	そこら辺も、コメントの
0:17:51	回答に入る前、
0:17:53	この辺の趣旨として使用前所を入れていただくと議論しやすいかなと。
0:17:58	で、一番が、コメントのナンバー3 に相当するところで、
0:18:07	今、61 ページが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:10	コメントの3番目のところで、
0:18:14	なので今冒頭、コメント回答入る前にですね、全体の流れとか、概略パラスタ目パラスタでどういうことをやってから詳細パラスタに入るか説明があると。
0:18:24	多分この61ページの、概略パラスタのここですみません。
0:18:31	いきなりここから入るんそもそもなんかどうやってここにたどり着いたんだっていうところで、
0:18:37	そこにはてなマークがつく方、周りがですね、ついてしまって、
0:18:42	急に詳細パラスタのこの話、コメント回答になるんだけど、なぜここにたどり着いたのかわからんということになると、そこは先ほどそちらからもお話があったように、冒頭のところで、改善されるでしょうと。
0:18:54	その上で、
0:18:57	パラスタとしてはかくかくしかじかの理由で、ライズタイム、破壊伝播速度破壊開始点を選んでやります。
0:19:04	はい。そこで次が、ちょっとここをどうやって分解しようかと62ページなんですけど、多分1ページで、この選定イメージまで含めて説明。
0:19:16	しようとする、
0:19:19	うん。
0:19:20	やっぱりこの1ページで説明しようとする、私は何回も聞いてるし、
0:19:25	わかったんでちょっとこの1ページだけってなかなか難しいかなと思って。
0:19:31	特に
0:19:33	左側の選定方法、
0:19:36	として、
0:19:37	御社も別に当然比較して最後選んでいく中で、数字比較はせざるをえないんですけど、別に数字を、何かありきで、選んでるわけではないというのはそういうヒアリングで聞いていて、
0:19:50	その分、
0:19:51	どこを最後重視して影響が大きいものを選ぶ、選ぶんだっていう時に、当然比較対象を選ぶ過程では、数字で絞り込んでいくんですけど、
0:20:02	どこが重要なのかというところは、もちろん下線は引いてあるんで、
0:20:06	これ1枚のこのね左のイメージまで含めて節、この1枚にぎゅっと全部の文字を入れてしまってるんで、ちょっとそこが見えにくいのかな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:19	何か分解したほうがいいのかなあ。
0:20:25	中部電力の盛でちょっと何かここら辺で、少しイメージがあればおっしゃっていて、
0:20:31	今どちらかというとその次の 63 ページぐらいの方が、まず入りとしては、
0:20:37	シンプルなのかなというふうに思っておりましてちょっとここ前回今回の比較にはなってしまうかもしれませんが、流れとしてはこういうのを考えていると、そこをもう少し詳細に
0:20:49	イメージまで入れ込んだものが、前のページになってきますので、
0:20:53	少し、まず、
0:20:55	この流れみたいなところを説明させていただいた上で細かい詳細な選定イメージも含めた説明ということで次のページに入っていくのは、
0:21:03	どうかなというふうに考えて、
0:21:06	おります。
0:21:07	ちょっと前回どういう、幾つかこちらから、このやり方ってどうなんですかってのは会合で聞いてると思うんですよ。
0:21:15	何か同じような数字が二つ並んでるんだけどそれって、なぜ選ばないんですかって言われたものがあるはずなので、
0:21:23	そうすると、前はこういうものを、こういう考え方で 1 個に絞ってたんだけど、それは今回やり方を変えたんで、それ両方選ばれる形になりましたと。さらに言えば、
0:21:33	最終的には前回説明としては、抜け抜けていたんだけど、きちんとは形とか、そういうものは同じだと、傾向が同じだっていうのを確認した上で、
0:21:44	最後選ぶんです。数字で何か最後比較しているかのように受け取られてしまったのはちょっと人が違うんですよと、それもしかしたらそういうつもりで求まってやっていて今回初めて、
0:21:54	葉系のお話を出したのかもしれないし実はもともとやってるのかそこは我々別に聞いてないんでわからないんですけど、
0:22:03	いきなりやっぱりこのイメージ図からフローチャートのイメージ図、右側のイメージ図カーを見始めると、これを最初に見てしまって、
0:22:12	基本的な方針が何なのかどう変えてきたのかがわからないままに、
0:22:16	このイメージを見て、そこで何か突合にはまる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:21	そんな印象があったのかなおっしゃるように、63 ページは 63 ページで文字だけなんでイメージしづらくはあるんですけど、
0:22:29	やり方はこう変えましたっていうのが 63 ページで、四肢用語が言ってみると 62 あ、すみませんあらかじめと防災訓練なんで、
0:22:39	無視してください。ちょっとしばらく止めますけど。
0:23:39	はい、すみませんちょっと放送していたしました。
0:23:42	なのでですね、確かに 63 ページですか。ここで前回の考えと今回の考えをご説明いただいているので、
0:23:53	前回の考えを示してそこでどういうふうな指摘をもらったんで今回のですっていう説明するのであれば、それは確かに 63 ページの方は、
0:24:03	その上で、
0:24:04	やり方として、これは書いてあることって、62 ページの左側ってのが 63 ページ一緒なん。
0:24:10	ですよ。
0:24:13	他方で 62 ページのオリジナルって右側のイメージなので、
0:24:18	先に 63 ページを説明をして具体的に代表ケースの選定とどういうふうにするのか。
0:24:25	数字の比較の部分はこうだし、っていう
0:24:29	それは、
0:24:32	これ、63 ページの右側だけ残して、62 ページの左側どんなんか、書いてある内容は一緒だけど文字数。
0:24:43	すみません向中します。
0:25:00	例えば 63 ページの右側って多分 62 ページの左側と言いたいことは同じはずで、
0:25:07	層相、
0:25:59	あ、すみません。
0:26:01	なんで 62 ページの左側と 63 ページに絵が多分言ってることが同じなのであれば、
0:26:07	先に磯野前回こういう説明で、こういう指摘があったんで、今回、こういうやり方をしますで多分そこ赤字で、独立された赤字で書いてあるところが一番重要なところで、
0:26:20	その上で、
0:26:22	具体的にこの間の部分ですよ重要なところというよりももう間の、
0:26:28	部分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:29	そして、どういう比較をするのかというのが、
0:27:21	なのでどういうやり方をして今回どうやって変えてきましたという説明した上で、すごい多分 63 ページの右側の、このぐらいの情報量であれば、いう意味で 63 ページの左側が丸々秋ですよ。
0:27:35	そこで代表ケースのイメージ、選定イメージっての説明すればそんなに ごちゃごちゃし、ちょっと 63 ページの右側にこれも当然 2 回出てくる んですけど、
0:27:45	まず比較をしてどう変えるかっていうのを行った上で、やり方を変えて あげる。
0:27:50	さらに多分その後ろに行ってみると 64 ページ以降で、実際にやってみ るところこうなんですってというのが、これ幾つか最も代表的なものを例 示で、
0:28:01	示している。最終的には半径なんかを比較して、かくかくしかじかで、
0:28:06	これだと、こうなのを選んだものはこれとして妥当だと言えますという 説明なのかなと思いますので、
0:28:14	全体の人はその、そのあとに多分全体概要みたいな説明に入ってるんで すけど、ここはちょっと入口と出口をまあ少し入れ替えるような形で、 これが、
0:28:24	プレート間の説明の割と是は最初の頃であれば、当然今回のコメント回 答した上で、そのあと概要説明っていうところでもいいのかもしれないで すけど、割ともう最後の仕上がりの段階にきているので、
0:28:38	まず全体として、これまで妥当性説明している部分は、こうやってたと 説明説明してますっていうのを、
0:28:45	前半でまず導入部分として言い切った上で、残ってるコメントはこここ こことここで、
0:28:51	それから個別のコメントに入っていく。
0:28:55	いうのはある程度進んで、もう最終段階に来ている項目としてはそうい う説明の仕方で、我々としても、聞いて議論をするというような形で、
0:29:05	したいかなと
0:29:06	多分新しい資料というか当然、解析なりとかですね、今までないような 情報を出してくださいということで申し上げてるわけではないので、
0:29:16	もうちょっとお互い効率的に、
0:29:20	進めていければなという趣旨で、改めて面談でお伝えした次第でありま す。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:28	はい。中部電力もですありがとうございます。今お話をご指摘伺っている。
0:29:34	藤江藤、ちょっと今回コメント回答もそうなんですけど、まず、
0:29:38	コメントがあってそれに対する回答があって、前後日前後の比較という ようなちょっと作りに基本的になってるんですけど、まず、
0:29:45	全体のところも含めてですね多分全体もコメント回答のあとはもう前回 までの審査の経緯としてここまでで、こういう説明をしてきていて、こ こ引っかかっていますと、それに対して今の 63 ページのように、考え方 をこういうふうに、
0:29:59	変えますということを入れた上で、
0:30:04	まだ、今の 62 ページの代表ケースの選定イメージもそうするとどうい うふうに変わりますという形で前後比較でもわかりやすく使えるかなと いうふうに思いましたので、
0:30:13	そういう立て付けで全体の頭の概要のページの、なんですけども今まで の審査経緯を含めて、全体がどうなっていて、ここが今議論になってま すというところをまずキープランとして示させていただいて、
0:30:26	その上でコメント回答に入っていくという形がいいのかなというふう にお話を伺ってる限りで思っております。
0:30:37	はい。
0:30:38	他ありますか。
0:30:39	中部電力浜野でございます。非常にわかりやすいご説明ありがとうございます。 60、
0:30:46	3 も 2 もそうなんですけど、例えば、
0:30:51	その基準断層モデルの選定のところ自体は実は、
0:30:55	何も、
0:30:57	基本的に変わってないんですけど、紙面の中で、
0:31:01	結構なウェイトを取ってしまっていてそれでいってその説明がないの で、わかりにくいということに繋がっているのかなと。
0:31:12	思ってみてもう少し、
0:31:14	変わったところ変わってないところ切り方なんでしょうけど選定のとこ ろまでは、基本的に概略パラメータ数で今までこうやってきてここは変 わりませんと。
0:31:24	結んだ上で詳細パラスタのステージでは、
0:31:28	63 の右のところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:30	わかりやすく 1 回説明した上で、具体的に数字まで、
0:31:35	例として挙げると、こんなことをやってるんですけどっていうのが 62 のもう少しこの上の方とか、
0:31:43	かぶっちゃってる部分を削って、
0:31:46	わかるようにすると、読みやすくなるかなと思ってますたしかに 62 は、非常に
0:31:53	何べんもきってご説明しないとわかりづらいところですので、その辺りで工夫をさせていただきたいなと考えております。
0:32:04	はい、そうですね詳細パラスタ割と、前回結果も見ながらもうすでに結果も出ているので、その結果のところちょっと議論をしてしまっているのがあるので、
0:32:14	確かに実はこれまで、前回でもそもそも前々回ですかね大分前にその詳細パラスタで、ライズタイム 60 秒あるんですけど、詳細パラスタで見るべきパラのパラメーター、
0:32:26	ああだったりというのは、大分前に議論してしまっていた部分もあるので、
0:32:31	詳細パラスタとしてはこういうパラメータをこういう理由で、こういう観点からこういうパラメーターを選んでみますと、
0:32:39	さらに今順番があるので、まず 1 個目のパラメーターについて計算して、その結果を踏まえてこういう考え方で次の大体破壊伝播速度破壊開始のステップに行きますっていうのは、
0:32:52	確かにその部分って、もう何ていうか前回までで議論が、そこ実は順番についての話とかは、火口があるんですけど、
0:33:00	全体の足として進んでしまったので、そこがあまり良い内は今、コメントになっている部分に特化してご説明されているので、
0:33:09	まさにそこもあった方が、詳細パラスタでな、何をやって、
0:33:16	影響を最後確認、一番影響の大きいものを確認するんだっていうところは、全体が見えたほうがいいかな。さらにそこに、今回その葉系の比較とか、そういうのを着目するんですけどっていう話がまたされるのかと思ってますので、
0:33:29	この辺もおっしゃるようにやっていただければ、あと多分審査、これまでの全体の流れ、
0:33:35	これまでこういう経緯でこう説明してきてっていうのはおそらく、本体で言うといつもついているのが 11 ページ目ですかね、こういうようなも

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	のももしかしたらポイントカイダに入れるということかもしれないというご趣旨かと思えますけどそこはお任せします。
0:33:55	多分導入部分なりがコメント回答する、今回こういうコメント回答ですっていう、
0:34:04	3件ですっていう中にももしかしたらこれまでの市津波評価の変遷みたいな形で、割と早い段階で入れるのかもしれませんが、はい。
0:34:16	中部電力のモリですありがとうございますと頭に入るその全体概要のところで一応確認なんですけども、
0:34:22	まず本体資料の6ページにあるような、全体フローというのをつけさせていただくと、痕跡再現モデル、先ほどちょっとおっしゃられてたと思うんですけど今期積再現モデルの検討の概要だとか、
0:34:34	もしくは、検討波源の設定の概要でパラメータスタディの概要というのはこの後に、
0:34:39	1枚ずつ、概要版みたいのを付けるというようなイメージでよかったですでしょうか。
0:34:45	泥層は、
0:34:48	この、この1枚をもう少し、
0:34:50	この1枚でもう少しわかりやすくという何でその1枚にこれ以上情報を加えるなり、もらいたいと、ということです。
0:34:59	訓練放送。
0:35:47	チームで抜くものでございます。今の6ページのところがちょっと前地質の時に、資料修正させていただいたように冒頭のところで、
0:35:58	文書って、
0:36:00	ここ、例えば、痕跡再現はこういうことをやってますので、詳細はこちらの本編のここ参照ですっていう感じで、衛藤1枚とは言わないで1枚2枚3枚ぐらいで、
0:36:13	書き下してそこ等この6ページを参照してみると在胎全体像が見えて残ってる課題がこの辺ですので、こう回答しますみたいな。
0:36:23	イメージかなと思って各パート四つのパートで1枚で作ってもいいんですけど、
0:36:28	どっちかと後ろに紐づけさせながら、肝としてこういうことやってるっていうのが読めるようにさせていただくのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:35	お互いわかりやすいかなっていうふうに考えている等ですね、何でも多くても1枚っていう趣旨なので、もともと本体の方にきちんと飛ばしていけるのであれば、それを飛ばし方でも結構だと思います。
0:36:51	天野です。はい、ありがとうございます。よくわかりました。
0:36:58	はい。
0:36:59	他、特になければ、演壇としてはこれで終わろうかなと思いますけれども、
0:37:08	よろしいですか。
0:37:12	中部電力もですか。
0:37:14	こちらからはいいです。
0:37:16	はい。
0:37:17	はい。それでは浜岡プレート間の審査の進め方ということで面談の方は以上で終了したいと思います。どうもお疲れ様でした。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。